



清里区再生を紹介

上越市議 橋爪さん 共著出版

上越市議の橋爪法一さん(59)は写真だが、このほど発刊された「集落再生と日本の未来」(自治体研究社刊)で、山村集落の地域づくりの事例として、清里区の柳池地区農業振興会を紹介した。

同書は中嶋信・徳島大

教授の編著。高齢化や人口減少が進み、「限界集落」とされる地域が増えるなか、集落の維持と再生に取り組む全国の5市町村のリポートを1冊にまとめている。

橋爪さんは5章のうち第1章を執筆。柳池地区

の11集落が連携し、耕作放棄地の防止や、都市との交流、水路や農道の管理などを担う同振興会の取り組みを紹介。代表者の考え方、同市の農業振興策を解説している。

橋爪さんは「奥まった地域なのに田んぼが荒れていない。農業だけでなく、集落の生活をどう守るのかを考えていると感じた」と話し、「集落再生は可能で、再生にはさまざまな方法があると分かる」と同書をPRしている。

A5判、171ページ。税込み1890円。春陽館書店(同市本町4)などで販売している。